

國學院大學學術情報リポジトリ

彙報

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-10-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/0002000998

彙報

▽平成二十四年度研究開発推進センター会議

- ・第一回、平成二十四年四月七日（土）十六時十五分～十七時十五分、A M C 棟一階プロジェクトルーム一
- ・第二回、平成二十四年八月七日（火）十六時三十分～十七時三十分、A M C 棟五階会議室〇六

▽「招魂と慰霊の系譜に関する基礎的研究」事業執筆者会議

- ・平成二十四年八月二十九日（水）十五時～十七時、A M C 棟五階会議室〇六

▽平成二十四年度研究開発推進センター研究会

- ・第一回、菅浩二「戦間期の国家・社会・宗教」、平成二十四年四月二十五日（水）十一時～十二時三十分、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・第二回、菅浩二「ロゴスの導くまに―難波田春夫の経済学と国家論（一）」、平成二十四年五月九日（水）十四時～十六時、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・第三回、中野裕三「大国魂神の神徳をめぐって」、平成二十四年五月三十日（水）十四時～十五時四十五分、A M C 棟五階プロジェクトルーム二

プロジェクトルーム二

- ・第四回、遠藤潤「都市札幌の宗教史展開と札幌神社の創建・発展」の執筆にむけて、平成二十四年六月六日（水）十四時～十五時四十五分、A M C 棟五階プロジェクトルーム二
- ・第五回、宮本蒼士「加藤玄智の神道研究の性格について」、平成二十四年六月二十日（水）十四時～十六時十五分、プロジェクトルーム二

- ・第六回、中野裕三「札幌神社の祭神―大国魂神の神徳をめぐって」、平成二十四年十月二十四日（水）十四時～十五時三十分、A M C 棟五階プロジェクトルーム二

▽国際学術交流事業（國學院大學院友神職会奨学資金）

〈アメリカ合衆国・ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所客員研究員派遣〉

- ・星野靖二（研究開発推進機構助教、平成二十三年四月より継続〈出張〉）

- ・「国際研究交流ワークショップ開催のため」菅浩二（研究開発推進機構准教授、黒崎浩行（神道文化学部准教授）、大東敬明（研究開発推進機構助教（特別専任））、平成二十五年一月二十二日～一月二十八日、アメリカ合衆国マサチューセッツ州ハーバード大学

▽二十一世紀研究教育計画委員会事業「地域・渋谷から

発信する共存社会の構築」

「共存学」グループ

〈平成二十四年度共存学研究会〉

- ・第一回、茂木栄（神道文化学部教授）「山・社・海をつなぐ神の道」、黒崎浩行（神道文化学部准教授）「都市生活における共存と神社の関わり―東京「大塚まちの灯り」の試み―」、平成二十四年五月十一日（金）十二時三十分～十四時、國學院大學経済学部資料室共同研究室

報

- ・第二回、松本久史（神道文化学部准教授）「近世国学思想から見た共存の諸相」、冬月律（研究開発推進機構ポスドク研究員）「神社からみる共存空間―消えていく集落にみる足尾町の暮らし―」、平成二十四年五月十八日（金）十二時三十分～十四時、國學院大學経済学部資料室共同研究室

- ・第三回、菅浩二（研究開発推進機構准教授）「共存の困難さ―帝国と植民地、海外神社の経験が紡ぐもの―」、宮本誉士（研究開発推進機構助教）「旧派」「新派」共存の背景―明治期和歌の伝統継承と革新運動―」、平成二十四年五月二十五日（金）十二時三十分～十四時、國學院大學経済学部資料室共同研究室
- ・第四回、ヘイヴンズ・ノルマン（神道文化学部准教授）「文化多様性と共存の行方―欧米の動向をふまえて―」、平成二十四年六月八日（金）十二時三十分～十四時、國學院大學経済学部

資料室共同研究室

- ・第五回、古沢広祐（経済学部教授）「共存学・文化・社会の多様性」について」、平成二十四年十一月三十日（金）十二時～十四時、AMC棟五階会議室〇六

- ・第六回、茂木栄（神道文化学部教授）・黒崎浩行（神道文化学部准教授）「東北三陸地域の震災復興をめぐる現地調査報告の集い」、平成二十四年十一月三十日（金）十二時～十四時、AMC棟五階会議室〇六

〈公開研究会〉

- ・「東アジア地域の共存を考える」、平成二十四年七月七日（土）十三時三十分～十六時、常磐松ホール、安成日（黒竜江大学哲学と公共管理学院教授）「東アジア地域共存、共栄のための制度的アレンジ（制度構築）―東アジア共同体構築における苦境と出口―」、森川裕二（富山大学極東地域研究センター特命助教）「アジア地域形成と共存・共栄社会の課題―北東アジアの共生課題と時空間―」、康成文（哈爾濱商業大學經濟學院副研究員）「日韓両国の対中国東北三省經濟協力比較」、モデレーター＝高橋克秀（経済学部教授）、総合同司会＝菅浩二（研究開発推進機構准教授）

〈フォーラム〉

- ・「震災復興と文化・自然・人のつながり―岩手三陸・大槌の取り組みから―」、平成二十五年二月十七日（日）十時～十七時

四十五分、第一部・基調講演、小島美子（国立歴史民俗博物館名誉教授）「震災復興に伝統文化の力をどう活かすか？」郷土芸能と人々のくらし」、佐々木健（岩手県大槌町役場）「逆境に立ち向かう」～震災からの復興に自然と歴史と文化を～、司会⇨茂木栄（神道文化学部教授）、第二部・個別報告、十王館勲（大槌稻荷神社禰宜）「避難所の口伝とともに」、佐藤一伯（御嶽神明社禰宜）「後方支援者としての神社・神職」、吉田律子（真宗大谷派僧侶、サンガ岩手代表）「つくる つながる つどう」明日への一歩 希望の針」、小野仁志（特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズ）「地域の自立を支える中間支援とは？」、コメンテーター⇨板井正斉（皇學館大学現代日本社会学部准教授）、司会⇨黒崎浩行（神道文化学部准教授）・古沢広祐（経済学部教授）

〈出張〉

- ・「第十一回生物多様性条約締結国会議および関連行事への参加」、古沢広祐（経済学部教授）、菅浩二（研究開発推進機構准教授）、平成二十四年十月十日～十月十七日（菅）、十月十三日～二十日（古沢）、インド共和国アーンドラ・プラデーシュ州ハイデラバード市
- ・「岩手県南地域の震災復興・相互支援にみる共同体の役割調査」古沢広祐（経済学部教授）、黒崎浩行（神道文化学部准教授）、菅浩二（研究開発推進機構准教授）、宮本誉士（研究開発推進

機構助教）、冬月律（ポスドク研究員）、筒井裕（ポスドク研究員）、平成二十四年十一月一日～三日、岩手県一関市・岩手県大槌町・岩手県釜石市

「渋谷学」グループ

〈創立百三十周年記念公開講座〉各回十時三十分～十二時、二一〇三教室

- ・第一回、西樹にしぎ（シブヤ経済新聞編集長）「渋谷の現在～未来」～しなやかな発想で変わる街の構造」、平成二十四年六月十六日（土）
- ・第二回、根岸茂夫（文学部教授）「渋谷の近世」～谷間の風景とその変貌」、平成二十四年六月二十三日（土）
- ・第三回、田原裕子（経済学部教授）「渋谷の一つ目小町・代官山の来し方、行く末」、平成二十四年六月三十日（土）

〈渋谷学研究会〉

- ・第一回、「祭りからみる都市・渋谷」、平成二十四年十月二十日（土）十四時～十八時、AMC棟五階会議室〇六、第一報告⇨秋野淳一（大学院博士課程後期）「祭りからみえる渋谷」～金王八幡宮例祭を中心に」、第二報告⇨高久舞（ポスドク研究員）「都市祭礼と芸能の関係」～八王子まつりを中心に」、コメンテーター⇨阿南透（江戸川大学社会学部教授）・小川直之（文学部教授）

▽外部研究機関との共催研究事業

〈國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター関連研究会〉
 ・公開学術シンポジウム「帝都東京における神社境内と「公共空間」——明治神宮造営後の都市環境形成——」、平成二十四年十月二十日（土）十三時～十九時、明治神宮社務所講堂、発題一＝青井哲人（明治大学理工学部准教授）「神社建築設計における内務省様式の確立へ——明治神宮」後、一九二〇年代の動向と技術者たち」、発題二＝畔上直樹（上越教育大学大学院学校教育研究科准教授）「大東京」形成期の「鎮守の森」と造園学校——「明治神宮モデル」をめぐる——、発題三＝藤田大誠（人間開発学部准教授）「〔聖域〕としての神社境内と「公共空間」——紀元二千六百年と「国家神道」——」、発題四＝菅浩二（研究開発推進機構准教授）「神社の「公共」性と「国家」性——明治神宮が「神社」であることの意義——」、コメント＝小林丈広（奈良大学文学部教授）※〈古都〉京都・奈良の視点、コメント＝小川原正道（慶應義塾大学法学部准教授）※寺院・宗教政策の視点、司会＝藤本頼生（神道文化学部専任講師）、進行＝今泉宜子（明治神宮国際神道文化研究所主任研究員）主催＝明治神宮国際神道文化研究所、平成二十四年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）基盤研究（C）「帝都東京における神社境内」と「公共空間」に関する基礎的研究」（研究課題番号：

23520063、研究代表者：藤田大誠）、共催＝平成二十四年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）「近代日本の宗教とナショナリズム——国家神道論を軸にした学際的総合検討の試み——」（研究課題番号：23520079、研究代表者：小島伸之）、明治神宮史研究会

〈共催事業〉

・国際研究交流ワークショップ New Perspectives in the Study of Japanese Religion : Research from Kokugakuin University
 平成二十五年一月二十三日（水）米国 ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本学研究所との共催

▽國學院大學院友神職会総会研究報告会

・菅浩二「家・郷土・国体——経済学者・難波田春夫の「国家と経済」論——」、平成二十四年十月九日（火）、若木タワー地下一階会議室〇二

▽研究開発推進センター研究事業（北海道神宮研究）

〈出張〉

・「北海道神宮に関する史料調査」中野裕三（研究開発推進機構特別専任講師）、森悟朗（研究開発推進機構助教）、平成二十四年十一月七日～九日（森）、八日～九日（中野）、北海道札幌市（北海道神宮）

▽成果公開

〈刊行物〉

- ・『國學院大學研究開発推進センター研究紀要』第七号、平成二十五年三月
- ・『都市民俗研究』第十八号、平成二十五年一月
- ・『渋谷学叢書3 渋谷の神々』、平成二十五年三月
- ・『招魂と慰霊の系譜』、平成二十五年三月
- ・『渋谷聞きがたり1 小倉基が語る東京と渋谷 ―元都議会議長・前渋谷区長のオーラルヒストリー―』、平成二十五年二月